

1. 小口径推進工 数量集計表

[illegible]

管推進工(低耐荷力・圧入二工程式 呼び径150mm)

路 線 番 号	立 坑 番 号	区 間 延 長	人 孔 減 長	管 体 延 長	立 坑 減 長	推進延長	管布設 延 長	空伏せ	推進工法用硬質塩化ビニル管			可とう管	発生土 処分工
									スパイラル継手付直管				
									標準管 1.00m	先頭管 1.00m	最終管 1.00m		
	(No)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)		(本)	(本)	(本)	(本)	(m3)
1193-1	No.1193-1-1 1号人孔	20.70	0.45	19.80	0.45	19.25		0.55	17.8	1.0	1.0	2.0	0.0214m3/m 0.412
	No.13-1 両発進立坑		0.45		1.00		0.55						
1181-1	No.13-1 両発進立坑	29.50	0.45	28.60	1.00	28.05	0.55	0.55	26.6	1.0	1.0	2.0	0.0214m3/m 0.600
	No.12-2 3方向到達立坑		0.45										
合 計		50.20	1.80	48.40	2.90	47.30	1.10	1.10	44.4	2.0	2.0	4.0	1.012

管推進工(低耐荷力・圧入二工程式 呼び径150mm)

路 線 番 号	立 坑 番 号	仮 設 備 工														
		支圧壁工	坑 口 工			鏡切り工						スクリュウコンベア 類撤去	推進設備 工	推進設備 据換工	先導体 回収	
						鋼 矢 板		ライナープレート		鋼製ケーシング						
			発 進	到 達	既設マンホール	発 進	到 達	発 進	到 達	発 進	到 達					
	(No)	(箇所)	(箇所)	(箇所)	(箇所)	(箇所)	(箇所)	(箇所)	(箇所)	(箇所)	(箇所)	m	(箇所)	(箇所)	(箇所)	
1193-1	No.1193-1-1 1号人孔	—			1							19.25			1	
	No.13-1 両発進立坑	—	1							1				1		
1181-1	No.13-1 両発進立坑	—	1							1		28.05	1			
	No.12-2 3方向到達立坑	—			1										1	
合 計			2		2					2		47.30	1	1	2	

2. 立坑工 数量集計表

名 称	規 格	単 位	No. 13-1				合計	備 考
			両 発 進					
立坑工								
鋼製ケーシング式土留工及び土工								
圧入掘削積込み工	粘性土 (N≤5)	m	4.400				4.400	
圧入掘削積込み工	粘性土 (5<N≤30)	m					—	
圧入掘削積込み工	砂質土 (N≤30)	m					—	
圧入掘削積込み工	砂質土 (30<N≤50)	m					—	
圧入掘削積込み工	礫質土 (N≤30)	m					—	
圧入掘削積込み工	礫質土 (30<N≤50)	m					—	
ケーシング長		m	4.400				4.400	
ケーシング溶接工	溶接長 (6.30m/箇所)	箇所	1.000				—	
ケーシング引上げ工		m					—	
ケーシング撤去工		箇所	1.000				1.000	
ケーシング切断工		m	12.180				12.180	
底部コンクリート							—	
底部コンクリート打設工		m3	0.500				0.500	
底部碎石								
底部碎石工	t=20cm	m2	3.100				3.100	
圧入掘削設備							—	
機械設置撤去工		回	1.000				1.000	
機械退避・再設置工		回					—	
鋼製ケーシング在置							—	
刃先製作取付費		個	1.000				1.000	
鋼製ケーシング	t=12mm	m					—	
鋼製ケーシング		m	4.400					
スクラップ	1.475×0.615t/m	t	0.907				0.907	
仮設ケーシング損料等							—	
仮設ケーシング損料		回	1.000				1.000	
立坑排水							—	
うわ水排水工		箇所					—	
泥水運搬処理							—	
スライム処理工		箇所					—	
泥水運搬工	立坑深さH≤7.0m 汚泥吸排車 L=km	m3					—	
泥水処分費		m3					—	
路面覆工							—	
円形路面覆工設置工	φ2000以下	箇所	1.000				1.000	
円形路面覆工撤去工	φ2000以下	箇所	1.000				1.000	
円形路面覆工開閉工	φ2000以下	箇所	1.000				1.000	
円形路面覆工損料	φ2000以下	式	1.000				1.000	
							—	
立坑土工							—	
立坑埋戻							—	
機械投入埋戻工(エアモルタル)	バックホウの機種(山積0.28m3(平積0.20m3))	m3					—	
人力投入埋戻工(エアモルタル)	バックホウの機種(山積0.28m3(平積0.20m3))	m3					—	
機械投入埋戻工(路床用碎石)	バックホウの機種(山積0.28m3(平積0.20m3))	m3					—	
機械投入埋戻工	バックホウの機種(山積0.28m3(平積0.20m3))	m3	6.462					
人力投入埋戻工	バックホウの機種(山積0.28m3(平積0.20m3))	m3	2.195					
嵩上げコンクリート	無筋	m3	0.166				—	
	型枠工	m2	0.605				—	
発生土処理							—	
ダンプトラック運搬工	ダンプ 4t, BH0.20m3, DIDなし,	m3	14.074				14.074	
							—	
付帯工							—	
舗装版切断工	As, t=20cm以下	m	6.359				6.359	
舗装版取壊し工	As, t=10cm以下	m2	3.217				3.217	
アスファルト殻運搬工		m3	0.161				0.161	
アスファルト殻処分工		t	0.378				0.378	
下層路盤工	RC-40, t=20cm	m2	3.217				3.217	
上層路盤工	M-30, t=17cm	m2	3.217				3.217	
仮復旧表層工	再生密粒度As, t=3cm	m2	3.217				3.217	

NO. 13-1立坑工 数量計算書				
名 称	規 格	計 算 式	単 位	数 量
立坑工	No. 13-1 両発進			
＜立坑名称＞：	鋼製ケーシング式立坑工	$\phi 2,000 \quad t=12\text{mm}$		
＜基数＞：	1基			
	立坑深(H1)		m	4.075
	面積	$\pi/4 \times 2.024^2 = 3.217$	m ²	3.217
	掘削深(H2)		m	4.400
	ケーシング全長(H3)	$\Sigma L = 4.400\text{m}$	m	4.400
		先頭ケーシング L = 2.400m	本	1.000
		中間ケーシング L = 0.000m	本	—
		最終ケーシング L = 2.000m	本	1.000
	表層厚(H4)		m	0.050
	路盤厚		m	0.350
	施工余裕(H5)		m	0.025
	撤去深(h1)		m	1.500
鋼製ケーシング式土留工及び土工				
圧入掘削積込み工	(H2) = H1 + t3 - H4			
	粘性土 (N ≤ 5)	L = 4.400m	m	4.400
	粘性土 (5 < N ≤ 30)		m	
	砂質土 (N ≤ 30)	L = 0.000m	m	—
	砂質土 (30 < N ≤ 50)	L = 0.000m	m	—
	礫質土 (N ≤ 30)		m	
	礫質土 (30 < N ≤ 50)		m	
		$\Sigma L = 4.400\text{m}$		
ケーシング溶接工	溶接長	(6.30m/箇所)	箇所	1.000
ケーシング引上げ工	(t1)		m	—
ケーシング撤去工	撤去長(H4)	L = 1.475m	箇所	1.000
ケーシング切断工	切断長	(12.18m/箇所)	m	12.180
底部コンクリート				
底部コンクリート打設工			m ³	0.500
底部碎石				
底部碎石工	t=20cm		m ²	3.100
圧入掘削設備				
機械設置撤去工			回	1.000
機械退避・再設置工			回	—
鋼製ケーシング在置				
刃先製作取付費			個	1.000
鋼製ケーシング	t=12mm		m	4.400
スクラップ		$1.475 \times 0.615\text{t/m}$	t	0.907
仮設ケーシング損料等				
仮設ケーシング損料	L=2.00m		回	1.000

NO. 13-1立坑工 数量計算書

名 称	規 格	計 算 式	単 位	数 量
立坑排水				
うわ水排水工			箇所	—
泥水運搬処理				
スライム処理工			箇所	—
泥水運搬工		立坑深さH≦7.0m 汚泥吸排車 L=km	m3	—
泥水処分費			m3	—
路面覆工				
円形路面覆工設置工	円形覆工板	φ2000以下	箇所	1.000
円形路面覆工撤去工	円形覆工板	φ2000以下	箇所	1.000
円形路面覆工開閉工	円形覆工板	φ2000以下	箇所	1.000
円形路面覆工損料	円形覆工板	φ2000以下	式	1.000
仮設材運搬重量				
	仮設ケーシング	φ2000 L=2.0~2.5m	t	2.102
	円形覆工板	φ2000 T-25	t	1.160
立坑土工				
埋戻工(発生土) h=2.722		$3.217 \times (0.370 + 2.352) - 2.295$	m3	6.462
▽23.440~▽20.718	控除	計=2.295		
	斜壁	$\pi/4 \times (1.050^2 + 0.820^2)/2 \times 0.370 = 0.258$		
	躯体・直壁	$\pi/4 \times 1.050^2 \times 2.352 = 2.037$		
埋戻工(発生土) h=0.953		$3.217 \times (0.648 + 0.130 + 0.175) - 0.871$	m3	2.195
▽20.718~▽19.765	控除	計=0.871		
	躯体	$\pi/4 \times 1.050^2 \times 0.648 = 0.561$		
	管	$\pi/4 \times 0.165^2 \times 0.475 \times 1 = 0.010$		
	管	$\pi/4 \times 0.165^2 \times 0.475 \times 1 = 0.010$		
	底版	$\pi/4 \times 1.100^2 \times 0.130 = 0.124$		
嵩上げコンクリート	底版	$\pi/4 \times 1.100^2 \times 0.175 = 0.166$	m3	0.166
	型枠工	$\pi \times 1.100 \times 0.175 = 0.605$	m2	0.605
掘削土量		$3.217 \times (4.425 - 0.050) = 14.074$		
			m3	14.074
付帯工				
舗装版切断工	As, t=20cm以下	$\pi \times 2.024$	m	6.359
舗装版取壊し工	As, t=10cm以下	$\pi/4 \times 2.024^2$	m2	3.217
アスファルト殻運搬工		3.217×0.05	m3	0.161
アスファルト殻処分工		0.161×2.35	t	0.378
下層路盤工	RC-40, t=20cm		m2	3.217
上層路盤工	M-30, t=17cm		m2	3.217
仮復旧表層工	再生密粒度As, t=3cm		m2	3.217